



東八森郵便局

「ワンストップサービス」が実施されている東八森郵便局外観(上)と受付窓口(左)



海岸線に沿って南北に長く集落の分散する八森町。昨年12月の法施行を受け、役場庁舎から離れた場所に位置する東八森岩館の両郵便局での、特定事務の取扱による「ワンストップサービス」をいち早く導入し、地域のニーズに応えています。

## 郵便局との事務連携で住民の利便性を向上（八森町）

観光資源の自然環境と

居住地の地理的条件

本県の日本海沿岸では最北端部に位置し、北で青森県の岩崎・深浦・鱈ヶ沢の3町村に接している八森町。背後には世界遺産「白神山地」を抱え、真瀬川の美しい渓谷や起伏に富んだ岩館の海岸線など、

多くの観光資源に恵まれた町です。地形は面積の9割が林野、日本海に迫る出羽丘陵に押し出されるように、海岸線に沿って集落・農地が南北に形成されています。昭和29年県内のトップを切って合併した旧八森・岩館両村の海岸線の総延長は16km。縦貫するJR五能線には、5つもの駅が存在します。

しかしながら、路線バスも含め本数は多いとは言えず、自家用車を所有しない南北両端の住民には、ほぼ中央部にある町役場まで住民票等証明書の交付を受けに出かけるのに、相当な時間を費やすことになってしまいます。役場から5km離れた東八森地区には550世帯・約1500人、7km離れた岩館地区は370世帯・1100人が暮らしています。また、3割を越える高齢化率の高さも不便さに



郵便局内に設置された証明書用ファックス機器。左側に見えるのが職印を押印するユニット。施錠され、役場担当者しか開閉できない仕組み。

輪をかけています。

### 郵便局との協調による 利便性優先のサービス

こうした状況から、町では両地区に所在する郵便局での各種証明書の発行を実現させるため、町内各局との情報交換を密に行いながら、国の動向を見守っていました。元来郵便局は地域への密着度が高く、住民が抵抗なく出入りできるメリットを持っているほか、立地やセキュリティ、事務処理能力に関しても好条件です。

そして、ようやく昨年12月に、「地方公共団体の特定の事務の郵政官署における取扱いに関する法律」が施行され、町はすぐさま準備にかかりました。3月には東八森・岩館西郵便局と協定を交わし、機器の導入・設置、事務打ち合わせを経て、この6月から運用を開始しました。

各郵便局で取り扱われる証明書は現在、戸・除籍謄抄本等、戸籍の附票の写し、住民票の写し等、印鑑登録証明

書、納税証明書の5種類

住民の申請を受けた各郵便局が役場担当者による申請書をファックスで送信します。申請書を受信した役場窓口ではパソコンを内蔵した、画像処理機能を持つ専用の送信機器に各種証明書を読み取らせ、申請のあった局に返信します。5分もかからないうちに、局に設置した専用機から、職印を朱で押印された証明書が出力されるといって仕組みです。局では手引書に従い、記載内容に誤りがないかチェックをし、申請者に交付します。

郵便局窓口で申請者が負担する手数料は役場窓口でのそれと同額。町は専用機器の保守管理費等を支出する上、郵便局に対し申請件数だけ手数料を支払いますので、証明書発行による利益はほとんどありません。まさに「住民の利便性」だけを最優先したサービスです。

### 地域密着の取り組みと サービス向上の可能性

各種の行政手続きを住民に身近な窓口で、1か所または1回で提供する、こうしたサービスは「ワンストップ・サ

ービス」と呼ばれています。

6月現在でこの制度を運用しているのは、全国でもまだ10数件、東北では同町と若手県花巻市の2自治体だけです。

サービス開始とともに、同様の環境を持つ周辺・県内他自治体からも、運営方法等についての問い合わせが町担当課に寄せられているとのこと。今後この「ワンストップ・サービス」は、本県のよ

うな地理的条件をもつ地方には必要不可欠な制度となるでしょう。また、ITの推進とともに、大量の情報伝達技術行政事務対応機器の開発が進む

将来、取扱事務もさらに飛躍的に増加することが期待されています。

郵便局との連携で住民ニーズにいち早く対応した八森町の取り組みは、他の多くの地方自治体にとって、これからの住民サービスの向上を図る上で、ま



申請書を受けた役場窓口では、担当者のPC(左)と専用送信機器(右)を連動させ、各種証明書のデータを申請局に転送します。



だ数少ないモデルケースとしての重要な役割を含んでいると言えます。